

梅雨も明け、いよいよ夏の暑さも本番です。お気に入りの本を手にとって、有意義な時間を過ごしませんか。

今月は「夏」をテーマにした本と、「なるには Books」の中から、2冊ずつ紹介します。ぜひ「夏」がテーマの物語を楽しんでみてください。また、時間に余裕がある夏休み、自分の将来について考えてみてはどうでしょう。



『夏休み』 中村 航 著

僕とユキ、舞子さんと吉田くん。女同士きずなの絆でつながる2組のカップルは、吉田くんの家出がきっかけで破局の危機に!? ひよんなことから始まった、僕と吉田くんの不思議な旅。少しずつ距離が縮まる僕らの行く手には、予想外の出来事が待っていた――。

とびきり爽やかで、たまらなく愛おしいひと夏の物語。



『青空と逃げる』 辻村 深月 著

深夜の交通事故から幕を開けた、家族の危機。日常を奪われた母と息子は、恐怖や怒りを抱えたまま、東京から逃げることになった。

夏休みを見知らぬ土地で過ごす母の覚悟と息子の決意。壊れてしまった家族がたどり着く場所とは――。辻村深月が贈る、一家の再生物語。

自分の将来 ～なるには Books～

「なるには Books」シリーズでは、「〇〇になるには？」をテーマに、様々な職業が紹介されています。今回は「なるには Books」シリーズ（現在 150 冊）の中から新着の2冊を紹介します。この機会に自分の将来について考えてみましょう。

具体的な職業が決まっている人はもちろん、まだ進路や夢が決まっていない人も、ぜひ手に取ってみてください。あなたに合った職業が見つかるかもしれません。



↑図書館入り口を入ってすぐ左にある本棚。科学道のコーナーの下



『介護福祉士になるには』

介護福祉士の仕事の内容だけでなく、実際に特別養護老人ホームで働いている人、障がい者施設で働いている人の思いや介護福祉士への道のりについても紹介されています。超高齢社会を支える介護福祉士の世界を見てみましょう。

『社会起業家になるには』

最近よく耳にする職業ですが、どういったものでしょうか。社会起業家とは、社会問題を認識しその問題を事業によって解決する職業のことです。今現在、未解決の社会問題が数多く存在しています。社会貢献に興味がある人におすすめの本です。

